

大分LNG 竣工する

—工事着工から3年9ヶ月、営業運転開始

〔10月4日＝大分〕かねてより建設中の大分LNG基地（大分市青崎4番地1）は、このほど営業運転を開始し、10月4日に竣工式が行われました。

当基地の建設工事は、今年3月にはほぼ完了し、その後4月にオーストラリアからのタンカー第一船を迎えLNG燃料の受入れを始めるなど営業運転に向けて着々とその準備を整えていました。

同工事のうち当社では、LNG

架構据付及び受入／払出配管工事、防災設備据付工事、制御装置設置工事他、各種電気・機械工事を担当し、無事故で終了しています。

竣工式は同基地敷地内で行われ、大分エル・エヌ・ジー㈱の深町社長、九州電力㈱の川合会長、IHIの岸野常務等関係各社の代表の方々に加え、地元選出の国会議員の先生方等も参列、当社からも久米社長が列席しました。

式では玉串奉典などの神事に続き大分エル・エヌ・ジー㈱の深町社長から、関係各位への感謝の言葉が述べられ、各施工会社に対して感謝状が渡されました。

営業を開始した同基地は、8万

トンのLNGタンクを3基備え、隣接する九州電力㈱新大分発電所向けに燃料を供給するほか、一部は大分瓦斯㈱へもパイプラインで供給されます。

同基地からの燃料供給を受けて九州電力㈱新大分発電所はさる5月から1号系列が試運転を開始しています。

当社大分建設所の無災害記録も本年度末には連続1000日に到達する予定です。この記録はもとより、平成3年7月の運開まで完全無災害でやり抜く意気込みで所員一同頑張っています。



△大分エル・エヌ・ジー基地



△厳かにとり行われる神事